

DRUG



INFORMATION

2009 No. 19

平成21年9月7日発行

「ファンギゾンシロップ」の供給停止に伴う対応について  
(第2報)

岐阜大学医学部附属病院薬剤部  
医薬品情報管理室  
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。  
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。  
[di8931@gifu-u.ac.jp](mailto:di8931@gifu-u.ac.jp) (担当：安田)

## 「ファンギゾンシロップ」の供給停止に伴う対応について (第2報)

抗真菌性抗生物質製剤「ファンギゾンシロップ 100mg/mL」(一般名:アムホテリシン B)につきまして、DI ニュース 2009 No.15 でもご連絡しましたが、規格外製剤の問題のため現在メーカーからの供給が一時停止されております。当院ではこれまで、本薬剤の処方を院内のみに制限する、処方量を減らす、あるいは代替薬剤へ変更するなどの対応をとって頂いておりましたが、8月31日付で本薬剤の院内在庫もなくなり、現在はオーダーを全面的に中止している状況です。

代替薬剤についても、ファンギゾンシロップの供給停止の影響を受けて全国的には品薄傾向であるとのことですが、「フロリードゲル経口用」につきましては、先日該当メーカー(持田製薬)より当院向けの在庫の安定供給が可能になったとの連絡を受けました。従いまして、今後、フロリードゲル経口用については通常通りの処方(参考:下記用法・用量)が可能となりましたのでお知らせ致します。

### フロリードゲル経口用 2%の用法・用量

**口腔カンジダ症:** 通常、成人にはミコナゾールとして1日 200~400mg(ミコナゾールゲル 10~20g)を4回(毎食後及び就寝前)に分け、口腔内にまんべんなく塗布する。なお、病巣が広範囲に存在する場合には、口腔内にできるだけ長く含んだ後、嚥下する。

**食道カンジダ症:** 通常、成人にはミコナゾールとして1日 200~400mg(ミコナゾールゲル 10~20g)を4回(毎食後及び就寝前)に分け、口腔内に含んだ後、少量ずつ嚥下する。

なお、ファンギゾンシロップの代替薬剤としては、他に「イトリゾール内用液」もあります。フロリードゲル経口用が使用できない場合は、こちらの薬剤もご検討下さい。ファンギゾンシロップにつきましては、供給が再開され次第、ご連絡させていただきます。

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。